

ひろみちお兄さん 活動休止リハビリ全う

「運動まひ」「感覚まひ」が発生…脳梗塞より珍しい

「今日は全く歩けません」

「佐藤弘道」
おおかあさんとして活躍
脊髄梗塞を発症し、活動
休止を発表した佐藤弘道



脊髄梗塞

2日機内で発症

NHKの「おおかあさんといっしょ」で「10代目体操のお兄さん」として活躍したタレントの佐藤弘道(55)が13日脊髄梗塞を発症し、活動を休止して療養に専念すると所属事務所を通じて発表した。

直筆文書で経緯や病状を報告。今月2日、研修会の指導に向かう飛行機内で体調を崩し、下半身まひで歩けなくなったという。「緊急入院し、投薬とリハビリの日々を過ごしています」「今は全く歩けません」と

現在の状態を明かした。脊髄梗塞は残念ながら有効的な治療法がないことは知っています」とも記した。

現在、中京テレビの情報番組「べっと」などに出演中。当面の間、全番組の出演を見合わせることにする。体操教室を主催する会社の代表も務めているが、指導はスタッフが代行しているため影響はないという。

前日は元気な姿 佐藤はSNSを頻繁に更新し、講演会や体操セミナーのため飛行機や新幹線で全国を飛び回る様子をファンに伝えてきた。体調を崩す前日の今月1日は「今日は群馬県前橋市」と元気な姿を写真付きで投稿していた。

日体大卒業後、オーディションを受けて「体操のお兄さん」に就任。1993年4月から2005年4月まで、歴代3位となる12年



脊髄 背骨の中にある脳につながる神経の束

症したとみられ、工藤氏は「エコノミー症候群のように小さな血の塊ができて詰まった可能性も否定はできない」とした。症状は、血流が悪くなった位置により、運動まひや感覚まひが発生し急に足が動かなくなったりする。発生から時間を置かず、血栓を溶かす治療をすることが効果的で「ゴールデンタイムと言われる3～4時間以内に治療ができる」との完治の確率は高い」という。その後は「1週間以内の超早期リハビリ、3～4週間以内のリハビリが重要」と指摘。「普段から運動をされている方なので、リハビリで快方に向かうことも十分にあるでしょう」とした。

「運動まひ」「感覚まひ」が発生…脳梗塞より珍しい
脳神経外科医工藤千秋氏が解説
脊髄梗塞は、何らかの原因によって脊髄に血液と酸素が届かなくなっている病態。脳梗塞と同じように神経に障害が生じる。脳神経外科医の工藤千秋氏(くどうちあき脳神経外科クリニック院長)によると「血管の内側にコレステロールがつくなどして、血管が細くなることで起こる。脳梗塞のように血栓が詰まることはまれにある」と説明。高血圧や糖尿病の場合リスクが上がる。年齢が若くても発症の場合はある。男女差はなく、脳梗塞に比べて発生は珍しい病気という。

今回、佐藤は飛行機の機内で発症したとみられる。佐藤弘道(さとう・ひろみち)1968年(昭43)7月14日生まれ、東京都出身の55歳。76年モントリオール五輪の体操競技を見て憧れ、日体大に進学。体操のお兄さんとして活動中の02年に会社を設立し、スポーツクラブを立ち上げる。弘前大学大学院医学研究科博士課程修了(医学)。大垣女子短期大学客員教授。趣味はゴルフ、水泳、スキー(SA J 1級)など。

下半身まひ「今日は全く歩けません」

を損傷し、車椅子アイドルとして活動している「仮面女子」の猪狩ともか(32)は13日、自身のSNSで佐藤にエール。「今は絶望の淵にいるかもしれませんが、きっと周りのサポートや、今まで見えなかった景色が広がり、生きる意味や希望が見えてきます」と思いをつづった。

事故で脊髄損傷を経験 車椅子アイドルエール
○…今年2月には、女性アイドルグループ「Juice=Juice」の元メンバーでリーダーだった宮崎由加(30)が脊髄梗塞と診断されたことを発表している。軽度で、すでに仕事復帰している。また、事故で脊髄

間活動し「ひろみちお兄さん」の愛称で親しまれた。この間「だんご3兄弟」を大ヒットさせた速水けんたろう(62)茂森あゆみ(52)や、20年に亡くなった今井ゆうぞうさん(享年43)らと共演。子供だけでなくお母さんたちからも人気となり、異例の「ファンブック」も出版。記念イベントでは、お母さんたちの黄色い声援がやまず、アイドル顔負けだった。今年3月にウェブ上で行われた「おおかあさんといっしょ」歴代体操のお兄さん人気ランキングでも2位の4倍の得票で1位に輝くなど、今も高い人気を誇っている。

「現実と向き合い、今できることを一生懸命に行い、また皆さまにお会いできる日を楽しみにしております」と決意をつづった佐藤。ネットには激励コメントが続々と書き込まれている。